

# 半島振興政策について

令和5年8月

国土交通省国土政策局

地方振興課半島振興室

## 半島振興法（昭和60年法律第63号）

○ **食料の安定的な供給等我が国の重要な役割**を担うとともに、国土の多様性の重要な構成要素である半島地域について、**多様な主体の連携及び協力を促進**しつつ、広域的かつ総合的な対策を実施するために必要な特別な措置を講ずることにより、半島地域の自立的発展、地域住民の生活の向上及び半島地域における定住の促進を図ることが目的。

### 23の半島振興対策実施地域 （22道府県、194市町村）の現況

- ・面積3.7万km<sup>2</sup>（全国の9.8%）
- ・人口（R2） **377万人**（全国の3.0%）
- ・人口増減率（H27-R2） **△6.8%**  
（全国△0.7%）
- ・高齢化率（R2） **37.5%**  
（全国28.6%）



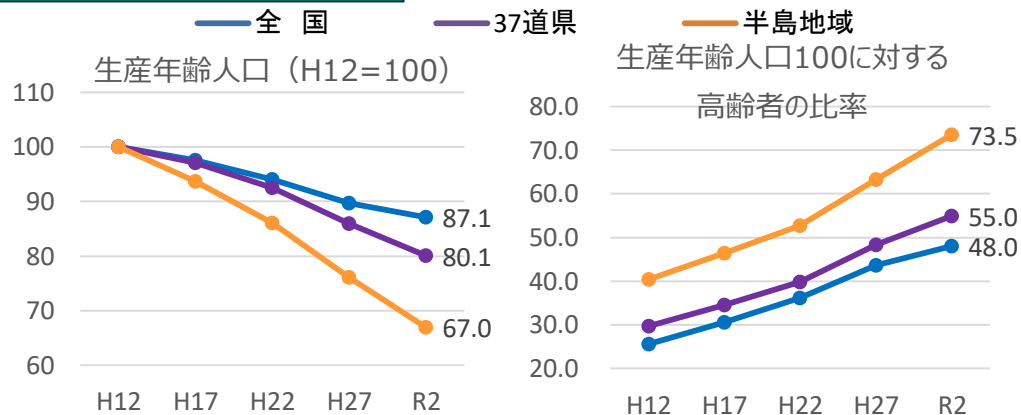
# 半島地域の条件不利性

- 半島地域は、交通アクセス性に難があり、生産年齢人口の減少や高齢化が深刻という課題を有している。
- 半島地域の人口は減少の一途にあり、昭和60年の509万人から、令和2年には377万人へと、26%減少しているほか、生産年齢人口も減少が続いている。

## 半島地域の課題

- ① 海に突き出した形状をしており、平地が乏しく、居住や経済活動の制約が大きい。
- ② 三方を海に囲まれており、陸路でのアクセスが不便。
- ③ 高速道路、空港等その他の公共的施設の整備が他の地域に比べて低位。
- ④ 生産年齢人口の減少が長期にわたり継続し、高齢化も進展。

## 生産年齢人口の推移



(資料)総務省「国勢調査」 ※生産年齢:15~64歳、高齢者:65歳以上

## アクセス所要時間

	半島地域の市町村平均 (平成29年)
空港	<b>88分</b>
新幹線駅	<b>123分</b>

(資料)国土交通省NITAS(全国総合交通分析システム)フルモードを用いて算出。

## 課税対象所得及び財政力指数の推移

- ・課税対象所得は全国平均の8割程度。財政力指数も脆弱。

	納税義務者1人当たりの 平均課税対象所得		財政力指数	
	令和2年度		平成29年度	令和2年度
全国	3,414千円		0.51	0.51
半島地域	2,803千円		0.36	0.36

(資料)総務省「市町村税課税状況等の調」、「全市町村の主要財政指標」

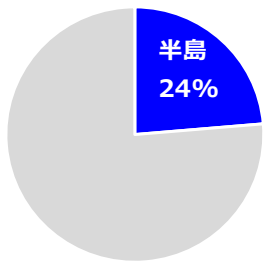
# 半島地域の重要な役割（水産物・農産物の供給）

半島地域は、古くから漁業や農業が基幹産業として発展。人口割合（3%）に対し、水産物・農産物の供給割合（20～30%）が高く、**全国への食料の安定供給拠点として重要な役割**を果たしている。

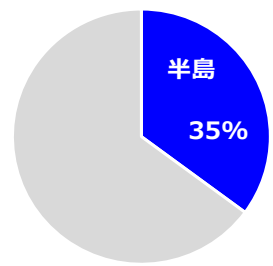
## 【半島地域の漁業・農業の全国に占める割合】

### 水産物

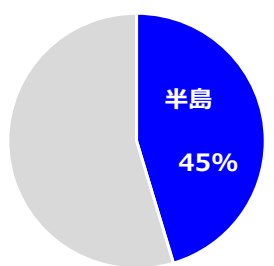
漁獲量



魚類養殖量



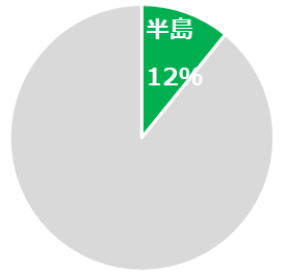
貝類養殖量



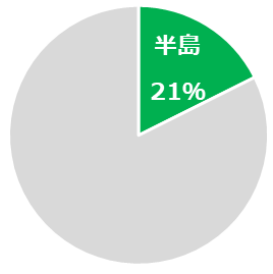
農林水産省「平成30年海面漁業生産統計」により作成  
 ※平成30年で市町村別統計は廃止

### 農産物

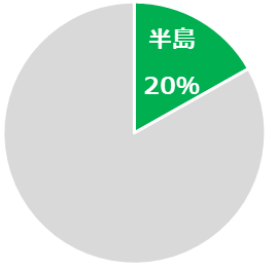
農業産出額



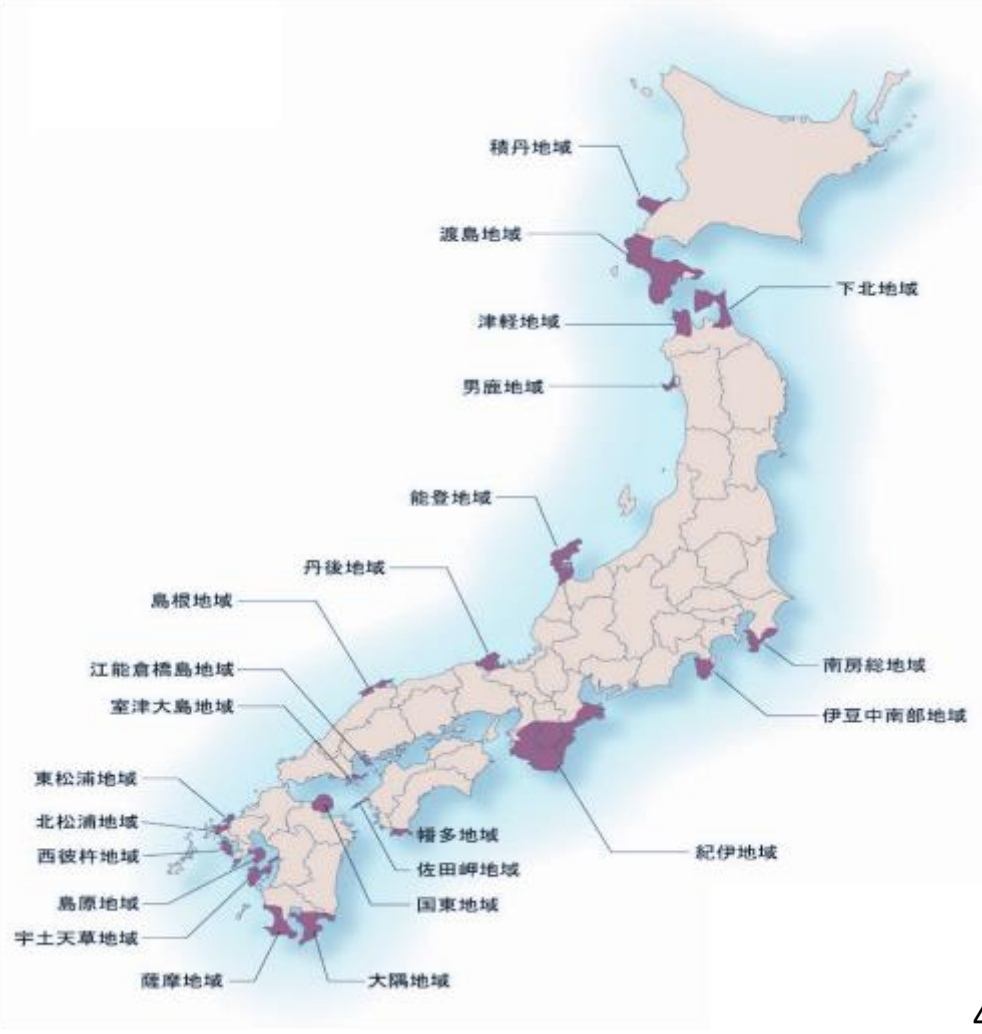
果実・茶産出額



豚産出額



農林水産省「令和3年度市町村別農業算出額（推計）」により作成



## 半島振興法(昭和60年法律第63号)

- 我が国において重要な役割を果たしている半島地域について、広域的かつ総合的な対策を実施するために必要な特別な措置を講ずることにより、半島地域の自立的発展、地域住民の生活の向上及び半島地域における定住の促進を図り、あわせて国土の均衡ある発展に資することを目的とする。
- 都道府県知事の申請を受け、国が半島振興対策実施地域を指定。都道府県知事が半島振興計画を作成し、国土審議会の意見を聴いた上で主務大臣が同意。国は支援を実施。
- 昭和60年に議員立法により10年間の時限法として制定され、3度の延長。直近は平成27年3月に改正・延長(衆・国土交通委員長提案、全会一致で成立)(令和6年度末が法期限)



## 主な半島振興施策

- ・半島振興広域連携促進事業  
半島地域の多様な主体が連携して実施する、交流促進、産業振興、定住促進に資するソフト事業に対して国が補助事業により支援
- ・工業用機械等に係る割増償却制度  
事業者が製造業等の事業に供する機械、建物等を取得した場合、割増償却により5年間法人税の繰り延べが可能(※)
- ・地方税の不均一課税の減収補填措置  
都道府県又は市町村が施設又は設備を新增設した事業者に対して不均一課税した場合、減収額の一部を国が地方交付税により補填(※)
- ・半島振興道路整備事業債  
半島振興計画に基づき都道府県又は市町村が実施する道路整備事業等に対し充当可能。特に防災機能強化に資する道路整備事業については充当率90%、交付税措置率30%
- ・半島循環道路等の整備、市町村道等の都道府県代行整備

※市町村が作成した認定産業振興促進計画の計画区域内における措置

等

### ○半島振興対策実施地域の現況

・23地域	(22道府県、194市町村)
・面積	: 3.7万km <sup>2</sup> (全国の9.8%)
・人口(R2)	: 377万人 (全国の3.0%)
・人口増減率(H27-R2)	: △6.8% (全国: △0.7%)
・高齢化率(R2)	: 37.5% (全国: 28.6%)



「産業振興促進計画」を策定している市町村において、製造業、旅館業、農林水産物等販売業、情報サービス業等の事業者が機械・装置、建物・附属設備、構築物の取得、建設等を行った場合、**5年間割増償却が可能。**

**（1）対象業種、取得価額要件**

製造業・旅館業	個人又は 資本金1,000万円以下	1,000万円超 5,000万円以下	5,000万円超
	500万円以上の 取得等	1,000万円以上の 取得等	2,000万円以上の 新增設に係る取得等
農林水産物等販売業・ 情報サービス業等	500万円以上の取得等（資本金5,000万円超は新增設に係る取得等）		

**（2）対象：**機械・装置、建物・付属設備、構築物

**（3）割増率** 機械・装置：普通償却限度額の**32%**、建物・附属設備、構築物：普通償却限度額の**48%**

**（4）償却期間：**5年

「産業振興促進計画」を策定している市町村又はその市町村の属する道府県が、事業税、不動産取得税、固定資産税の不均一課税をした場合、不均一課税による減収額の一部を国が地方交付税により補填。

## 減収補填の対象業種、取得価額等

事業者の規模（資本金）		1,000万円以下	1,000万円超 5,000万円以下	5,000万円超
対象		機械・装置、建物・附属設備等に係る新增設		
取得価額	製造業・旅館業	500万円以上	1,000万円以上	2,000万円以上
	農林水産物等販売業・ 情報サービス業等	500万円以上		

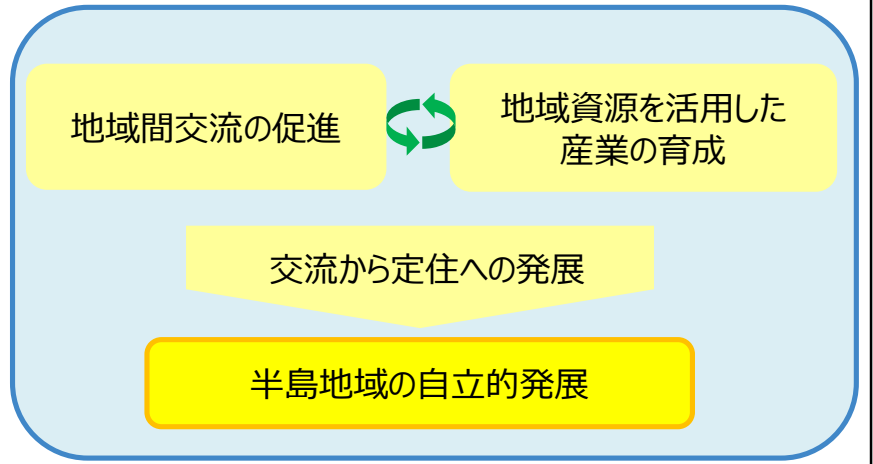
## 不均一課税の減収補填措置のイメージ



不  
均  
一  
課  
税  
に  
よ  
る  
減  
収

## 半島地域の現状と課題

- 今後の半島地域の自立的発展には、地域資源や特性を活かした地域間交流と産業の育成を推進し、定住を促進することが不可欠。
- 大消費地から遠隔であり条件不利性が高い半島先端部を含めた半島全体の活力を向上させるためには、連なった各地域が連携・分担して広域的な取組を実施することが必要。



(参考) 経済財政運営と改革の基本方針2023 (R5.6.16閣議決定)

5. 地域・中小企業の活性化  
 (個性をいかした地域づくりと関係人口の拡大)  
 個性をいかした地域づくりに向けて、沖縄振興・北海道開発と、過疎地域や奄美、小笠原、半島、離島、豪雪地帯等の条件不利地域対策に取り組む。

## 事業のイメージ

- 補助対象：道府県・市町村（事業主体：道府県、市町村、民間団体等）
- 対象事業：資源や特性を活かした交流促進、産業振興、定住促進に資する地域における取組をパッケージ化し、それぞれの取組主体が連携・分担して広域的に実施される取組
- 補助率：道府県、市町村・・・予算の範囲内で事業費の1/2以内  
 民間団体等・・・予算の範囲内で事業費の1/3以内（ただし地方公共団体の負担額と同額まで）

半島地域において、それぞれの事業主体が連携して実施する中期的な事業パッケージを道府県から国に提出し、国は予算の範囲内で補助を行う。





## 南房総地域半島振興広域連携促進事業 <勝浦市・御宿町>



### ■ 事業目的と概要

交流人口及び関係人口の増加を目的に、半島地域最大の入込客数を誇る「かつうらビッグひな祭り（勝浦市）」と隣市の「まちかど『つるし雛めぐり』（御宿町）」を「勝浦・御宿ひな祭り合同開催（ひな祭りコラボ）」として同時期に開催。

合同開催にあたって、広域連携促進事業の両イベントのシャトルバスの運行にかかる費用補助を行っており、来場者が両会場を周遊するための交通手段となっている。

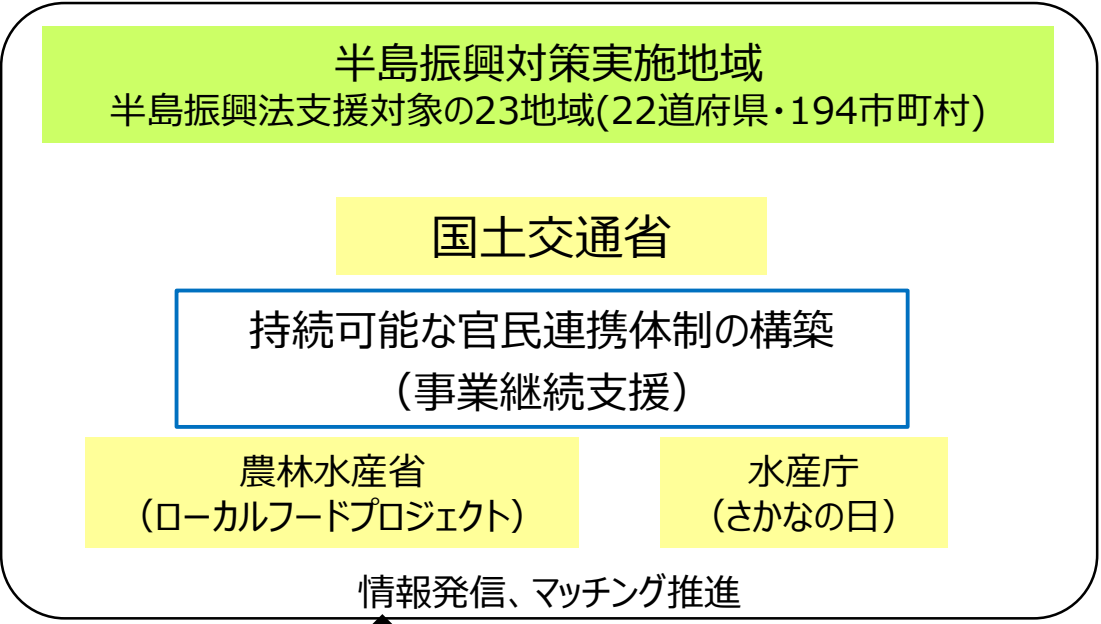
### ■ 事業の効果

合同開催とすることで、各イベントの認知度も向上。特に、御宿町のイベント来場者数は7,000人程度（連携前）から11,000～15,000人程度に増加。

一日では全ての会場を周遊できないため、宿泊需要の喚起や、再来訪のきっかけづくりにも寄与。

また、併せて観光PRや移住相談会を実施。南房総地域に足を運ぶ機会作りにつながっており、観光客を交流人口へ、交流人口を関係人口へ、関係人口を定住人口へつなげる役割。

半島産品の発掘、販路拡大等を図るため、**良い物を高く売る**「小ロット・多品種・高単価」の商流を創出し、半島の食のブランド化を推進。**官民連携で半島産品の販売促進**を支援。



(取組例)  
大丸松坂屋百貨店  
中元・歳暮カタログ

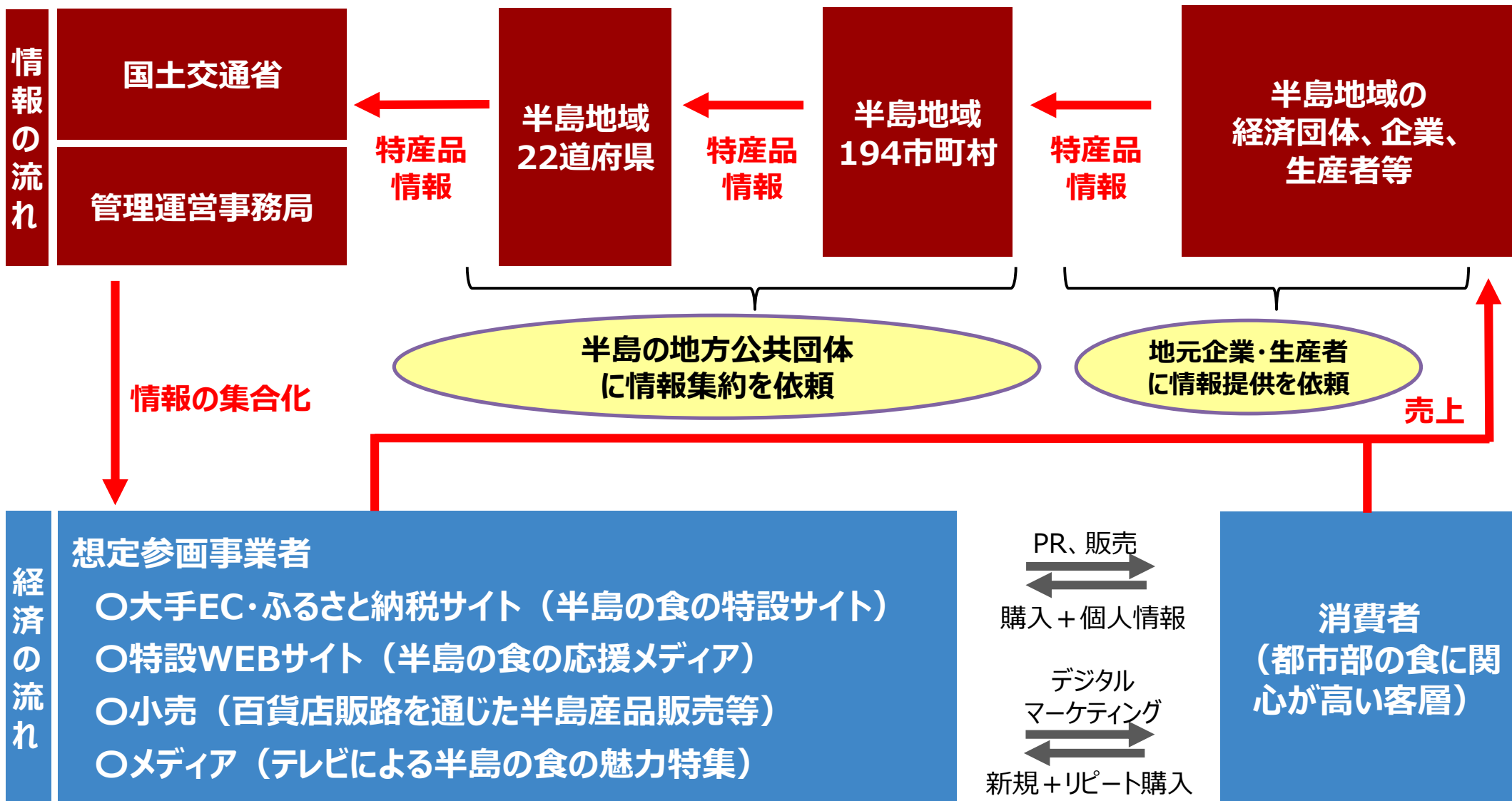


(取組例)  
楽天市場  
ふるさと納税特集ページ

連携

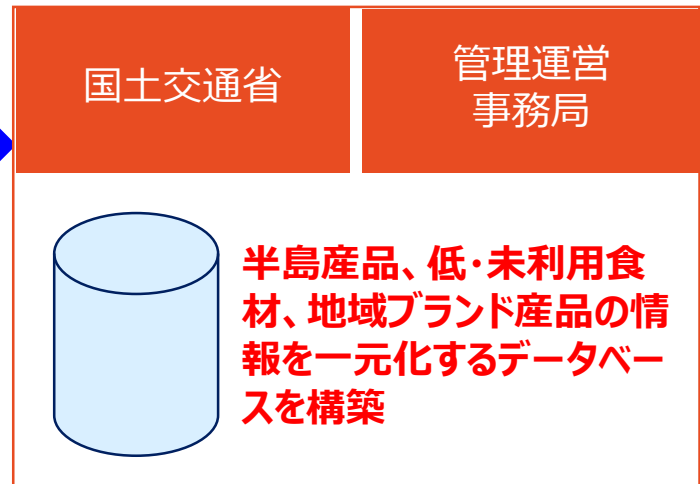
JTB	光文社	楽天グループ	日本航空	大丸松坂屋百貨店	毎日放送 日音	MD プランニング	(ピザーラ等を運営する) フォーシーズ他
半島産品・低未利用食材データベースを運営。	半島の食の魅力を紹介するWEBサイト・SNS (半島は日本の台所) を運営。	楽天市場・楽天ふるさと納税の半島産品特集ページを運営。	JALショッピング・物産展・越境ECを通じ、半島産品を集約して販売。	店舗、外商、ECサイトを通じ、半島産品を集約して販売 (中元・歳)	テレビ番組を通じ、半島の食の魅力等を発信。	試作品開発、試行販売等、半島産品開発支援。	半島産品を使用した半島振興フェアを開催。

半島産品の発掘、販路拡大等のための官民連携体制を一気に構築し、半島産品を「**集合化**」し、半島の食の価値を消費者に訴求することにより、半島の食のブランド化、ファン作りを実現。



半島産品データベースは、加工品、低・未利用食材、地域ブランド産品を掲載した半島産品データベースを作成してWEBサイトで公開し、参画事業者と連携してデータベース掲載産品の販路拡大を目指すもの。

## ＜半島情報収集イメージ＞



膨大な情報の整理・提供・更新管理を行うために、WEBサイトでデータを閲覧可能なプラットフォームを構築。

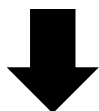
## 販路拡大のための情報

半島産品データベースWEBサイト  
URL : <https://hanto-shoku.com/>

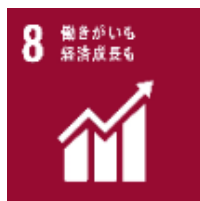
半島地域の水産物・農産物の販路拡大を目指す取組（食のブランド化）で地域の経済基盤を強化するとともに、特に未利用魚、規格外等の活用促進を図ることで、廃棄物の減少等にも貢献。（薩摩半島（鹿児島県）、紀伊半島（三重県、和歌山県）など）

## 食のブランド化による地域の経済基盤の強化

**半島の食の官民連携プラットフォーム構築**  
半島地域の自治体等と参画企業の連携



**持続可能なビジネスモデルの創出**  
半島の食のブランド力、平均所得の向上



## 未利用魚の活用



南さつま市野間池漁港のタカエイ、漁獲時に取れる深海魚などを食材として加工



形が悪かったり、傷等があるだけで、市場に出回らない魚を食材として提供するための加工場を作ることで、新たな雇用の創出や経済循環、更には水産物廃棄問題の解決にも繋がる。



食料の安定供給、国土の多様性、持続可能な半島地域の実現



- 半島産品データベースの中から、実証事業参画事業者が、それぞれ関わりの深い分野の視点から選定。
- 受賞産品には、副賞として各参画事業者からPR 特典等を付与。

アワード名	受賞産品名（半島地域名）	副賞
JTB「Japanese Foods Premium Trade Fair 賞」	農家の経験と火山の恵みの結晶「ホワイトコーン」 （島原半島）	海外バイヤー（香港）とのオンライン商談会へ招待
楽天グループ「半島 WEB 物産展賞」	糍の甘酒×12本セット（紀伊半島）	楽天会員向けメールマガジンでアワード商品をメール文面に記載し、紹介 ※9月頃、1回配信予定
光文社「半島は日本の台所賞」	①さばの塩辛（島根半島） ②かきすき（江能倉橋島半島） ③能登の大納言あんこギフト （つぶあん・こしあん）（能登半島） ④無洗米ちりめんじゃこ山椒ごはんセット （渡島半島）	・「半島は日本の台所」で商品ご紹介（記事作成） ・プレゼントキャンペーン開催（8月10日より1商品ずつ、4週連続開催）
日本航空「HANTO DELICIOUS 賞」	マーマレード2本セット （佐田岬半島）	Web媒体：On Trip JALにてJALふるさとアンバサダーが生産者・商品を現地取材し記事掲載
大丸松坂屋百貨店「絶品発見！につぼんの半島フード賞」	八幡しゅうまい詰合せ（鯛・はも・いか各8個入）（佐田岬半島）	歳暮にて取扱いを検討 【販売期間】 EC:10月31日～12月20日 店頭：11月1日～12月24日

アワード名	受賞産品名（半島地域名）	副賞
毎日放送「西乃風ブラン堂賞」	別途、西乃風ブラン堂放送内で紹介 （令和6年2月放送予定）	西乃風ブラン堂の地上波番組内で、 出演者植村あかりさんと川村文乃さんが選ん だ半島産材を紹介予定
日音「うたなび！賞」	別途、うたなび！放送内で紹介 （令和6年3月放送予定）	
SATOYAMA & SATOUMI movement 実行委員会「SATOYAMA & SATOUMI movement賞」	タカエビ（薩摩半島）	イベント「カーボンニュートラルを考える 2024 by SATOYAMA & SATOUMI movement」食はペニンシュラ（半島）PR ステージでの紹介、又は、イベントオリジナル商品（出演タレントとのコラボレーション商品）の食材としての活用
DMM.com「DMMオンクレにっぽんの半島フード賞」	やわらか干しいも もっちりいも（西彼杵半島）	DMMオンクレ「にっぽんの半島フード」にてプライズとして取り扱う
フォーシーズ「半島応援賞」	タカエビ（薩摩半島） うにソース（渡島半島）	フォーシーズが運営する店舗にて期間限定メニューとして活用を検討 また、それらをニュースリリースにて配信

光文社WEBサイト「半島は日本の台所」とSNSで、23の各半島地域のおすすめスポットや半島産品の特集記事を配信。ECサイト等と連携して販売促進に寄与。

□ スイーツ、おつまみ等、お土産や自分へのご褒美を中心に紹介し、ECサイト等と連携して販売促進に寄与。

□ 各半島地域の特集記事に加え、半島産品等に関するニュース記事等を発信（約250記事掲載）。

WEBサイト閲覧数：**26万突破**

□ SNSは、ほぼ毎日発信（1,000回超発信）。プレゼントキャンペーン好評。

公式Twitterフォロワー数：**2.3万突破**

**（半島ファンが順調に生まれている状況）**

□ 光文社WEBメディア（女性自身、CLASSY.、VERY、STORY、美ST）で連動記事も配信（約140回）。



「#選ゆ〜い」が合言葉、フルーツの台所・わかやま



ニッポン半島産品を盛り込んだ「選ゆ〜い」実用レシピブック「選ゆ〜い」が発売された。...

半島産品の魅力を伝えるべく、半島産品を盛り込んだ「選ゆ〜い」実用レシピブック「選ゆ〜い」が発売された。...

日本最大級の青果市場から即席産店まで…直売所巡りで「推し農家」を発見

「大間の本マグロ」



「大間産」マグロを堪能したい。マグロ好きにはたまらない。大間産のマグロは、...

大間産のマグロは、マグロ好きにはたまらない。大間産のマグロは、...

大間産のマグロは、マグロ好きにはたまらない。大間産のマグロは、...



楽天グループのECサイト「楽天市場」内に、半島の食の特集ページ「半島WEB物産展（半島キッチン）」を開設（23の半島別特集ページも開設）。ECサイト商品、ふるさと納税返礼品掲載。ECサイト商品は、1,400品超掲載。セミナーも開催（令和5年6月、10月）。

特集ページ紹介バナー



23の半島地域別の特集ページ



日本航空「JALふるさと応援隊」が、光文社WEBサイト「半島は日本の台所」で半島産品を紹介。「JALショッピング」に特設サイトを開設。物産展、ふるさと納税など、販路を拡大。

- 光文社「半島は日本の台所」で「JALふるさと応援隊」が魅力発信（全12回）。  
※ 12地域（渡島、積丹、下北、男鹿、能登、南房総、丹後、島根、宇土天草、江能倉橋島、佐田岬、国東）。
- JALショッピングに特設サイト「HANTO DELICIOUS」開設。「半島は日本の台所」紹介商品60品販売。都内大学イベント、島根県松江駅、東京タワー等でも販売。
- オンラインイベント開催。機内誌SKYWARD、グルメ・ファーストクラス掲載。有楽町「JALプラザ」入口に「半島デリシャス」展示（令和5年1～2月）。

「半島デリシャス」トップページ



オンラインイベント





大丸松坂屋百貨店の中元、歳暮で、「**絶品発見！ につぼんの半島フード**」特集を実施。

□ 令和4年は23半島地域200商品以上掲載。

中元：オンラインストア（令和4年5月31日～8月7日）、店頭（6月1日～8月6日）、外商。

歳暮：オンラインストア（10月31日～12月20日）、店頭（11月1日～12月20日）、外商。

□ 令和5年は中元、歳暮売上目標1.6億円超。中元：21半島、約100商品（令和5年5月31日～8月7日）。

□ 半島特集チラシ（40万部）を優良顧客に発送。

カタログ表紙(中元)



カタログ表紙(歳暮)



オンラインストア特集ページ(中元)



商品例  
ババヘラアイス  
(男鹿)



毎日放送制作のテレビ番組「西乃風ブラン堂」で半島の食の魅力等の特集放送。

## 番組概要

- 西日本を盛り上げる、モノ、コト、グルメを紹介し、西日本の「ご当地新ブランド」を徹底取材する地方創生バラエティ。
- **放送7局**（毎日放送、中国放送、あいテレビ、テレビ山口、山陽放送、山陰放送、テレビ高知）のほか、**インターネットでも全国配信**（TVer、MBS動画イズム等で放送後1週間）。テレビと連動してラジオでも放送。

□ 放送エリア内の5つの半島地域を3週にわたり紹介。各回約25分。

- ・**島根**（令和4年6月20日、6月27日、7月4日）
- ・**丹後**（7月11日、7月25日、8月1日）
- ・**室津大島**（8月5日、8月15日、8月22日）
- ・上記3地域の総集編（8月29日）
- ・**紀伊・三重エリア**（10月17日、10月24日、10月31日）
- ・**幡多**（令和5年1月16日、1月23日、1月30日）
- ・アワード紹介（2月27日）
- ・**令和5年度は、8月頃、10月頃、12月頃、2月頃に特集予定。**



出演（左から）  
三ツ廣政輝(毎日放送アナウンサー)  
植村あかり(Juice=Juice)  
川村文乃(アンジュルム)

TBS子会社日音制作のテレビ番組「うたなび！」内で半島地域の半島産品紹介コーナー放送。

## 番組概要

- 幅広いジャンルの音楽を紹介。視聴年齢層は幅広く、アイドルファンから演歌・歌謡曲ファンにわたり視聴。
- **放送13局**（北海道文化放送、とちぎテレビ、群馬テレビ、東京MXテレビ、新潟放送、北陸放送、チューリップテレビ、岐阜放送、中部日本放送、京都放送、テレビ和歌山、奈良テレビ、南日本放送）。

## コーナー名「宮崎由加のなびから始まるストーリー」

- 月1回6分程度で、一つの半島地域と半島産品を紹介。紹介産品の視聴者プレゼントも実施。
- これまで紹介した半島地域（**能登、房総、下北、紀伊、島原、宇土天草、伊豆、丹後、渡島、積丹、薩摩、大隅、東松浦、男鹿、津軽、島根**）。
- 出演者が能登、房総に足を運び、半島の食の魅力を体験した模様も放送（令和4年11月～令和5年2月）。アワード受賞品も紹介（令和5年3月放送）。



出演 宮崎由加

石川県かほく市出身

ペニンシュラ（半島）応援特使

- AKOMEYA TOKYO**で監修経験のあるスタッフ（MDプランニング）の企画により、半島のこだわり食材を使用したブランド「**美食半島**」を立ち上げ、「**多品種・小ロット・高単価**」をコンセプトとした試作品を開発。**著名なシェフとコラボレーション**し、高品質・高単価な商品を目指す。
- 令和5年は、**レトルトカレー5品、炊き込みごはんの素5品**を開発。夏（8月頃）と秋（11月頃）に分け、都内アンテナショップ等で試行販売する。

## 【レシピ監修シェフ】



### レトルトカレー DELHI 2代目 田中 源吾

1956年に東京 湯島で創業したDELHI 創業者の田中敏夫は戦前スリランカやインドに駐在した経験があり、カレーを日本に紹介したいと思いスタート。竹中直人など名だたる有名人がこのカレーのファン。現在のカレーブームを牽引。現在ではセブンイレブン×DELHIのコラボレーションカレーを発売し人気を博すなど幅広い展開を行なっている。



### 炊き込みごはんの素 熊谷 喜八

銀座東急ホテルを皮切りに、セネガル、モロッコ日本大使館料理長に就任後、渡仏。パリで研鑽を積み、その後当時ジョエル・ロブション氏が率いていた「ホテル・コンコルド・ラファイエット」でセクションシェフを務める。帰国後、高樹町「シルバースプーン」料理長、葉山「ラ・マーレ・ド・茶屋」の総料理長を務め、1987年、KIHACHIをオープン。厚生労働省「卓越技能章 現代の名工」受章。「黄綬褒章」受章。

## 【10品目開発予定半島地域】

カレー		炊き込みごはんの素	
北海道	渡島	石川県	能登
青森県	津軽	島根県	島根
千葉県	南房総	佐賀県	松浦
和歌山県	紀伊	大分県	国東
鹿児島県	大隅	高知	幡多



大手飲食企業フォーシーズが、「半島振興フェア（紀伊半島フェア）」を開催。今後、別の半島地域でも半島振興フェアの開催を検討中。（フォーシーズは、「PIZZA-LA」や「柿家すし」等のデリバリー事業をはじめ、「クア・アイナ」「TO THE HERBS」「ジョエル・ロブション」などの飲食事業を60業態1,300店以上で展開）

- ❑ 「おおかまど飯 寅福」（和食）14店（令和4年5月13日～7月28日）、「BIKiNi」（スペイン料理）5店（5月20日～6月19日）。
- ❑ 使用食材は、三重（桜ぶり、日本酒）、和歌山（うめぶた、みかんどり）、奈良（吉野葛、丸茄子）。
- ❑ 特別メニューは、寅福9種+日本酒4種。BIKiNi 4種。約4,600万円の売上。

## 特別メニュー（寅福）



## 特別メニュー(BiKiNi)







- 合同会社DMM.comが提供する業界最大規模のオンラインクレーンゲームサービス「**DMMオンクレ**」で、「**にっぽんの半島フード**」フェアを開催。 <https://onkure.dmm.com/lp/hanto>
- 国土交通省が、食品流通関係者等とのマッチングを図るために公開した「**半島産品データベース**」（<https://hanto-shoku.com/>）から**セレクトされた半島産品**を景品として展開。

DMMオンクレ：スマートフォンやPCを使って実物のクレーンゲーム機を遠隔操作し、24時間どこからでもクレーンゲームを楽しむサービス。獲得した景品は、後日自宅に配送。

（※）他の取扱例：JA全農の産地直送通販サイト「JAタウン」、全国の地方新聞社厳選のお取り寄せサイト「47CLUB」等。

「にっぽんの半島フード」フェア紹介バナー



景品一覧

- ・漬けもん屋のぬか床（**紀伊半島**）
- ・天空のマーマレード（**佐田岬半島**）
- ・やわらか干しいも もっちりいも（**西彼杵半島**）
- ・だし黒酢ジュレ（**薩摩半島**）

オンラインクレーンゲーム（イメージ）



## 「半島の食ガイドブック」の刊行（令和6年1～2月発行予定）

- ハロー!プロジェクトの「アンジュルム」メンバー（川村文乃さん、上國料萌衣さん、伊勢鈴蘭さん）を起用した「半島の食ガイドブック」を、令和6年1～2月刊行予定。
- それぞれの**出身地の半島地域（渡島又は積丹、幡多、宇土天草）**に赴き、半島の食、現地でしか食べられない名店、観光スポット等を取り上げ。
- 半島応援メディア「半島は日本の台所」で紹介した**23半島の半島産品を「お取り寄せリスト」として掲載。**
- 書店、ネット書店販売に加え、電子書籍でも販売予定。都内で起用タレントによる**刊行記念イベント（メディア向け）**を開催予定。
- 「半島は日本の台所」WEBサイトに紹介ページを設け、SNSからも発信。



### 起用予定タレント 「アンジュルム」メンバー

左から  
上國料萌衣（カミコクリョウ・モエ）  
→熊本県出身

川村文乃（カワムラ・アヤノ）  
→高知県出身

伊勢鈴蘭（イセ・レイラ）  
→北海道出身



- アップフロントグループによる地方応援イベント。令和5年4月1日、2日に幕張メッセで開催。国土交通省のほか、総務省、環境省、水産庁、千葉県等も後援。**4万人**来場。
- 「食はペニンシュラ（半島）」と称し、展示とPRステージを実施。**男鹿半島ナマハゲ**も参加。半島地域の食材（**紀伊半島・三重エリア**）を使用したコラボ商品を販売（**約7,000個完売**）。半島マグロ解体ショーや水産庁「さかなの日」のPRも連携して実施。
- 半島PRの様子は、**特番**としてテレビ番組「うたなび！」で5月下旬放送。

展示の様様

半島マグロ解体ショーの様様

半島PRステージ出演メンバー



半島の食の魅力等をPRしていただくため、歌手の**五木ひろしさん**、俳優の**黒谷友香さん**を「ペニンシュラ※応援大使」に、タレントの**宮崎由加さん**を「ペニンシュラ応援特使」に任命。令和4年6月21日、**任命式を実施**。多くのメディアで取り上げられる。就任後、**男鹿、紀伊、房総、能登、島原を訪問**。WEBサイト「半島は日本の台所」で**特別記事**も配信。

※「ペニンシュラ(Peninsula)」は、英語で「半島」の意。

五木ひろし



1948年生。福井県出身。NHK紅白歌合戦50回連続出場等、国民的歌手。紫綬褒章、旭日小綬章等受賞。新曲「北前船／港町恋唄」は、半島に縁のある曲。

黒谷友香



1975年生。大阪府出身。俳優。CM・ドラマ・映画・雑誌等幅広く活動。東京と房総半島の二地域居住を25年以上続け、乗馬、ガーデニング、DIY等、半島の魅力を実体験。

宮崎由加



1994年生。石川県出身。いしかわ観光特使、かほく市ふるさと大使。タレント。テレビ・ラジオ等で活動。テレビ番組「うたなび！」半島特集コーナー担当中。



農林水産省  
ローカルフードプロジェクト



- 地域の食品産業を中心とした多様な関係者が持つ経営資源を結集するプラットフォームを形成。
- 地域の農林水産物を活用し、地域の社会課題解決と経済性が両立する新たなビジネスを継続的に創出していくことを目指す。

連携内容

- 半島の食のブランド化事業をローカルフードプロジェクトWEBサイトで紹介（令和5年1月）。
- 企業マッチング促進を図るため、半島産品データベースを紹介。オイシックス・ラ・大地が半島産品データベースの活用を検討中。

水産庁  
さかなの日



- 水産物の消費拡大を官民協働で推進するため、毎月3日から7日までを「さかなの日」と制定。特に11月3日から7日までを「いいさかなの日」として強化週間に位置づけ。
- 賛同メンバー（令和5年6月末現753団体）は、水産物の消費拡大に係る取組を実施。

連携内容

- 連携して地方応援イベントに参加し、ロゴを使用したコラボ商品を販売（令和5年4月）。
- 企業マッチング促進を図るため、半島産品データベース（低・未利用魚情報）を、さかなの日WEBサイトで紹介（令和5年2月）。

## 人材の育成確保について

- 過疎法では人材の育成確保が条文に書き込まれており、離島振興法では関係人口が目的に規定。半島も人材の育成確保が重要。

## 地域ブランド化について

- 半島のブランド化や地域内経済循環等、経済の質を考えるべき。

## 広域連携、地域内経済循環について

- 半島の根元部分と半島の経済は密接に結びついており、半島部分が廃れていくと根元部分の経済も危うくなる。地域内経済循環の考え方を根づかせるべき。

## 自然環境保全・再生について

- 30by30や国立公園の重なり等、自然環境保全・再生は法改正における柱の1つとすべき。

## その他

- デジタル活用が大事。また、人事育成確保、自然環境保全、再生可能エネルギー、移住定住の促進等、過疎法と重複していても、半島振興法にも配慮規定を設けるべき。